

Challenge to the 120th Anniversary

2008年度 学院創立120周年に向けて 「行動する追手門」

追手門学院幼稚園

幼稚園新園舎建設、9月着工予定

2008年の学院創立120周年に向けて幼稚園舎の新築が決まり、9月着工予定となりました。現在の幼稚園舎は創立から34年が経過して老朽化が進んでおり、従来から建て替える必要性が指摘されていましたが、この度全面的な建て替えを行い、約1年後には完成する予定となっています。

幼稚園の新築は保育方針である「創造性豊かな人間教育」、「友愛・礼儀作法」、「情操豊かな人間育成」等の考え方に基づいて、子供たちが学びと遊びのなかで様々な体験をすることを視野に入れた教育施設となっています。

概要：1階 1,061㎡ / 2階
1,101㎡ 駐車場 40㎡
合計：2,202㎡
園庭面積：1,203㎡
テラス面積：199㎡
設計会社：(株)ジャクエツ
施工会社 未定



追手門学院では2008年に迎える学院創立120周年に向けた取り組みが既に決まっています。教育改革を初めとして、学院の各学校の連携教育事業、またすべての園・学校で施設新築を含む増改築が検討されています。

山桜会員の皆様の協力を得ながら、2008年度までには新しい追手門学院をお披露目できるものと計画を進めており、ご期待いただきたいと思います。

追手門学院大手前中・高等学校 ベンチャーコース



経済産業省副大臣 高市早苗さんを迎えて 特別講演会開催

大手前中学校では、4月5日(土)午後2時から視聴覚教室で、2・3年生のベンチャーコースの生徒57名及びその保護者を対象に経済産業省副大臣高市早苗さんを迎えて「今こそ起業家教育が必要」と題して特別講演会を開催しました。

高市さんは、学生時代に「自分探し」をしながら、松下政経塾でいろいろな人との出会い、政治家になるまでの体験談などについて優しい口調で中学生に語られました。

講演の中で高市さんは、日本でのアントレプレナー(起業家)を紹介しながら、経済を活性化するためには起業家精神が必要で、将来起業家を目指すためには、「あらゆる勉強が無駄ではない」、特に「日本語をしっかりと勉強しておくこと」と中学生に熱いメッセージを残されました。

追手門学院小学校

毎年恒例の学用品供養祭が催される

1972年から始めて今年で21回目となる恒例の学用品供養祭が、2月6日小学校グラウンドで行われました。小学校では教育目標の「敬愛」において、人や物に対して尊敬する心と物を大切にすることを育てています。毎年、終業式が近づく頃、えんぴつ、消しゴム、ノートなど使い古されて役目を終えた学用品に「長い間お世話になりました」と児童全員で感謝の気持ちを込めて供養をしています。

追手門学院中・高等学校

今年度大学入試で進学実績が大幅に上昇

中・高改革の流れを受けて、教育改革が強力に進められており、今春の大学入試では昨年度と比較して大きな変貌を遂げました。国公立大学合格者数は、今年度23名(現役20、浪人3)となり、昨年度10名(現役6、浪人4)に対し、13名増加しました。一方私立大学の内、関関同立への合格者数は、今年度141名(現役98、浪人43)で、昨年度63名(現役44、浪人19)に対し、78名の増加となり、国公立及び私学とも2倍以上に跳ね上がりました。

今年度の51期生はコース制を取り入れた1期生で、当初から進学目標を掲げ、様々な学習環境を整えてきた結果、大きな実を結んだといえます。

追手門学院大学

2003年度 教育改革実施 2008年に向けた取り組み着々と進む

大学では2003年度セメスター制度の導入、1年生に対する導入教育、「学び論」「北摂を学ぶ」等を取り入れた新カリキュラムが実施され、教育改革が順調に進行しています。さらに新学部・学科設置についても検討が重ねられており、教育内容のより一層の充実が目指されています。同時に学院創立120周年に向けたキャンパス計画も積極的に検討されています。

上記諸改革プロジェクトの推進を主たる任務として、2003年4月1日付で特任副学長職を設置し、2008年に向け取り組みが着々と進行しています。